

# もものくいんぼう すけっちびより

第43回

## 大きな空の下 草をはむ牛の 向こうは海

せたな町は以前すけっちびよりでも壮大な夕日の海の風景を描いたが、最近、仕事で海岸線からそりたつ丘の上にある牧場を訪れた。丘の上からは牧草地と大きな風車、そして向こうに海が少しと、大きな空が広がっている。そして、牧草をはみ\*、のんびり歩いている牛たちを見て、無性にこの風景を描きたくなった。

せたな町といえばやはり海のイメージだ。食の仲間にせたな町の漁師さんがいて、すっかり漁業の街だと思っていた。ずいぶん前になるが食の仲間たちとせたな町を訪問した時に、その漁師さんがせたなは海だけではないと、連れて行ってくれたところがあった。1つ目は近藤チーズ工房である。今は亡き近藤さんがランニングシャツで出てきたことを覚えている。あのチーズの味は今も忘れられないくらい美味しかった。そして、2つ目は村上牧場だ。その頃は、ホルスタインのミルクで手作りアイスクリームを作っていて、皆で美味しくいただいたことを覚えている。今ではブラウンスイス牛が放牧され、近藤さんから教えを受けたチーズも作っている。せたな町には海だけではなく山もあり、海の幸にも山の幸にも恵まれた豊かな街であることを教えてもらった。

それから何度も足を運んでいるせたな町。久しぶりに訪れた山のせたなの風景は、まさしく大地と空と海の風景だ。まだ目に馴染まない風車がちょっと残念だけど、ここからみる夏の夕日もとても美しいはずだ。

\*はむ・はみ

「食べる」の古い言い方。

遠いむかしの詩や歌、ものがたり・日記の中に使われた日本古来のことば。





## すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろ事務局長

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほか、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はたけのごちそうなーんだ？」（アリス館）「おいしい大地、北海道」（イースト・プレス）がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？くだもの」（アリス館）がある。モットーは4つのS。「Simple, Slow, Small, Smile: さざやかに、ゆっくり、ほどほどに、にこにこ」。